

学校自己評価

学校自己評価とは、戸田中央看護専門学校が、組織的・継続的な教育活動の改善を行い、学生・卒業生、関係者との連携協力による特色ある学校づくりを推進するために行う評価です。学校評価は教育機関としての機能を包括的に判定する学校関係者評価と、教職員による学校運営全般、卒業生による教育活動等、在校生による授業アンケートの評価からなっています。平成 30 年度より実施されています。

令和 6 年度の取り組みと評価

<令和 6 年度 学校自己評価結果と前年度の比較>

表1大項目評価(卒業生・在校生)

評価基準 5 大いに当てはまる 4 当てはまる 3 どちらでもない 2 当てはまらない 1 まったく当てはまらない

	No	I	II	III	IV	V	VI	平均
	項目	教育理念 目標	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援	教育環境	
卒業生	R1	4.1		4.0	4.2	4.0	4.3	4.12
	R6	4.28		4.38	4.78	4.5	4.54	4.46
在校生	R3	3.76		3.76	3.85	4.08	3.83	3.86
	R4	4.22		3.81	3.93	4.13	3.89	3.99
	R5	3.66		3.66	3.72	3.96	3.98	3.80
	R6	3.75		3.80	3.78	3.97	3.96	3.86

・コロナ禍以降久しぶりに卒業生の里帰りの会を対面で行った。卒業生より大変よい評価を得ている。

・在校生からはすべての項目で 3.7 以上の評価を得ている。

・教育活動についてのポイントは昨年度より上昇し、例年並みの評価を得ている。

表2大項目評価(教職員)

評価基準 5 大いに当てはまる 4 当てはまる 3 どちらでもない 2 当てはまらない 1 まったく当てはまらない

No	I	II	III	IV	V
項目	教育理念 目標	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援
R4	3.5	3.1	3.6	3.4	3.7
R5	3.7	3.4	3.7	3.4	3.7
R6	3.7	3.3	3.7	3.6	3.7

財務状況についての理解を高める必要がある。地域貢献活動が活発に行えるようになり、教職員の評価も高まっている。

No	VI	VII	VIII	IX	X	平均
項目	教育環境	学生の受け入れ募集	財務	法令等の遵守	社会貢献地域貢献	
R4	3.5	3.3	3.2	3.7	3.3	3.5
R5	3.6	3.6	3.1	4.0	3.9	3.6
R6	3.7	3.6	2.8	3.9	4.4	3.7

グーグルフォームを使用し 5 段階リッカート尺度にて調査した。

表 3 在校生アンケート結果 3 学年比較(R5年度)

	1 年生	2 年生	3 年生	平均
教育理念、教育目標	4.00	3.51	3.43	3.66
授業・授業評価	3.86	3.43	3.64	3.66
実習	3.97	3.46	3.72	3.73
国家試験対策	3.77	3.48	3.89	3.72
学校行事	3.98	3.65	3.68	3.78
学生支援	4.27	3.72	3.87	3.96
教育環境	4.19	3.88	3.86	3.98
学校生活全般	4.17	3.97	4.19	4.11

1 年生 回答率 84.9%
 2 年生 回答率 80.3%
 3 年生 回答率 94.4%

表4 在校生アンケート結果 3 学年比較(R6年度)

	1 年生	2 年生	3 年生	平均
教育理念、教育目標	3.9	3.85	3.66	3.75
授業・授業評価	3.79	3.86	3.65	3.74
実習	3.95	3.75	3.66	3.8
国家試験対策	3.74	3.81	3.78	3.78
学校行事	3.97	3.77	3.75	3.84
学生支援	4.12	4.01	3.78	3.97
教育環境	4.12	4.04	3.85	3.96
学校生活全般	4.15	4.17	4.03	4.11

1 年生 回答率 83%
 2 年生 回答率 95.8%
 3 年生 回答率 87.7%

表 5 授業評価

	R5	R6
学生自身の取組み	4.08	4.45
授業の進め方	4.45	4.38
授業の工夫	4.45	4.37
担当教員について	4.47	4.42
授業の成果	4.46	4.39
総合評価	4.47	4.38

学生の取組み以外の項目について、昨年を下回っているが、すべての項目で 4 ポイント以上の評価を得ている。

表 6 成績評価

	R4	R5	R6
A 評価	80 人	62 人	76 人
B 評価	45 人	48 人	37 人
C 評価	0 人	1 人	3 人
D 評価	0 人	0 人	0 人

年間を通した各科目の成績(卒業時)

A 評価は 80 点以上、B 評価は 70 点～80 点未満、C 評価は 60 点～70 点未満、D 評価は 60 点以下

表 7-1 学年目標(3 年次) 自己評価結果

	3 年次目標	平均	
礼	様々な状況にある人を思いやり、尊重しあい、相互作用の中で共に成長する力を身に着けている。	4.2	4.24
	看護実践における道徳的・倫理的な責務を自覚した判断と姿勢を身に着けている	4.24	
智	物事を様々な視点をもって探求し、看護の質向上を図る基本的な能力を身に着けている。	4.2	4.2
技	健康の状態やその変化に応じた臨床判断を行う基礎的な能力を身に着けている	4.17	4.16
	地域共生社会における看護師の役割及び他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働する基本的な能力を身に着けている。	4.15	

ほとんどの項目で、3.5以上の評価となっている。学年それぞれに細目標はあるものの、学年が上がるごとに目標達成の自己評価は上昇している。

表 7-2 学年目標(2年次)自己評価結果

	2 年次目標	平均	
礼	様々な状況にある人を思いやり、尊重しあい、相互作用の中で共に成長する力を身に着けている。	4.09	4.07
	看護実践における道徳的・倫理的な責務を自覚した判断と姿勢を身に着けている	4.03	
智	物事を様々な視点をもって探求し、看護の質向上を図る基本的な能力を身に着けている。	3.68	3.68
技	健康の状態やその変化に応じた臨床判断を行う基礎的な能力を身に着けている	3.99	3.9
	地域共生社会における看護師の役割及び他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働する基本的な能力を身に着けている。	3.81	

表 7-3 学年目標(1 年次)自己評価結果

	1 年次目標	平均	
礼	様々な状況にある人を思いやり、尊重しあい、相互作用の中で共に成長する力を身に着けている。	3.78	3.84
	看護実践における道徳的・倫理的な責務を自覚した判断と姿勢を身に着けている	3.89	
智	物事を様々な視点をもって探求し、看護の質向上を図る基本的な能力を身に着けている。	3.47	3.47
技	健康の状態やその変化に応じた臨床判断を行う基礎的な能力を身に着けている	3.75	3.8
	地域共生社会における看護師の役割及び他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働する基本的な能力を身に着けている。	3.84	

表 8 保護者会実施状況

	令和 4 年度		令和5年度		令和 6 年度	
	時期	参加人数	参加人数	時期	参加人数	時期
1 年生	2月	動画配信	82 名	4 月	108 名	4 月
			動画配信	12 月		
2 年生	8 月	動画配信	動画配信	3 月		
3 年生	11 月	動画配信	動画配信	1 月	動画配信	12月

- ・1 年生の保護者会については多くの方の参加をいただけた。
- ・3 年生の動画配信は、多くの保護者が視聴され好評をいただけた。

表 9 図書室利用状況 利用者数(名)

	1 年生	2 年生	3 年生	教員	学外者	学生総数	総数(名)
令和 元年度	1,319	5,869	8,390	1,122	116	15,578	16,816
令和 2 年度	1,105	1,535	5,300	1,112	53	7,940	9,105
令和 3 年度	1,054	2,384	7,500	1,713	38	10,938	12,689
令和 4 年度	1,261	4,041	4,994	1,518	68	10,296	11,882
令和 5年度	949	4,194	3,960	1,415	36	9,103	9,258
令和 6 年度	423	1,685	4,340	1,236	35	6,448	7,719

- ・1・2 年生の利用数減少は iPad、電子テキストの使用および、全館で Wi-Fi が使用できるようになり検索が容易になったためと推察できる。

表 10 ボランティア活動への参加述べ人数

ボランティア活動	令和3年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)
グリーンビレッジ 安行 秋祭り	中止	中止	12 名	6 名
グリーンビレッジ 蕨 秋祭り	中止	中止	中止	6 名
とだ優和の杜 秋祭り	中止	中止	12 名	12 名
ピンクリボン活動	中止	117 名	115 名	121 名
戸田中央総合病院災害訓練	中止	中止	中止	30 名
都立光が丘公園災害時共助訓練	中止	中止	60 名	18 名
トルコシリア地震募金活動		14名		
さいたまマラソン				40 名
練馬ファミリー祭り				10 名
	11 名	135 名	201 名	243 名

積極的にボランティア活動を行えている。

表 11 研修への参加延べ人数(教員)

区 分	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)
授業設計	5 名			1 名
シミュレーション	1 名	1 名		1 名
教育実践	2 名	7 名	11 名	12 名
学会	7 名		5 名	2 名
教育評価			1 名	
看護実践		4 名	2 名	
管理				5 名
カリキュラム				
国家試験対策	1 名	1 名	5 名	13 名
総数(複数回参加有)	16 名	13 名	24 名	34 名

対面での研修会の開催増加により、参加できるようになってきている。